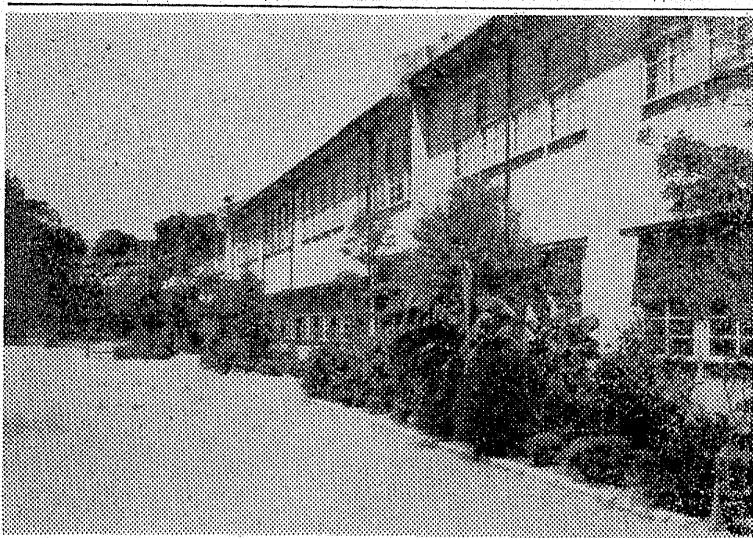


役員は現役を優先

自民支部新役員を内定



自民党いわき支部は、三十一日午後二時から平唐民館で開き、新役員を正式に決めることになった。この役員選挙につき、二十四日夜員会を開き調整をはかった結果、新支部長に菅波茂代議士、幹事長には中田武雄県議、総務会長に馬自智美県議を起用するが主なボストは一期県議で占る。いわき支部の役員はいままでない者が数だが、注目されていた派はつ色を調和させた人事という見方方が強い。

ひとつの役員会で調整作があつたのは、幹事長に白羽の矢を向かれた鈴木喜政県議があくまで固辞した。二期県議の北郷徳助氏も辞退したため一期議員の中田武雄氏に落ついた。鈴木氏は補田万次郎県議とともに長老格として顧問に落ついた。北郷氏は副支部長に内定し、支部長と三役はいずれも現役新人によつて構成され、支部運営に頭のいい若手

時代の話題

共稼ぎの問題点

共稼ぎの是非は論じられてゐる。共稼ぎの問題が世間を騒がしている。これによる家庭が多くなつてゐる。これによる問題が起る内部的な問題や外

部的に起る問題が世間を騒がして

いる。共稼ぎの是非は論じられて

いる。共稼ぎの是非は論じられて</p

